

# 令和5年度

## 「地域住民福祉活動情報交換会」 報告

区内19の連合町会を基礎エリアとして小地域福祉活動推進組織が設置され、地域の実状にあわせた様々な取り組みが行なわれています。

令和5年度になり、数年ぶりに活動自体を再開したり、人と交流するメニューを復活させたりと、全地区でさまざまな活動が行われるようになりました。

アフターコロナ時代に移り変わろうとしている今、「暮らしの安心につながる小地域福祉活動を考える」をテーマに”講演や活動報告、情報交換”を通して、小地域福祉活動が果たしている役割や意義を改めて皆さんといっしょに考える機会にできればと開催しました。

自治町会や民生委員児童委員の皆さんなど、31名の方に参加いただきました。

1. 日 時 令和6年3月21日(木) 午後2時~4時30分
2. 会 場 ウェルピアかつしか1階
3. 内 容 第一部

- ・講演「新たなつながりで広がる地域の福祉力」

講 師：日本社会事業大学 社会福祉学部 教授 菱沼 幹男 氏

- ・報告「さりげない見守り活動」

報告者：高砂共笑会 委員長 石戸 和夫 氏  
総 務 高橋 令子 氏



### 第二部

- ・情報交換会 (参加者同士グループトーク)

\*\*\*\*\*

### 《目次》

- P2 当日の様子
- P3 アンケート結果
- P6 当日資料 ①講演資料 (菱沼教授)
- P22 当日資料 ②報告資料 (高砂共笑会 石戸氏、高橋氏)

→①菱沼教授 講演(約40分間※資料前半部分のみ)

②高砂地区報告後の菱沼教授と地区と質疑応答場面(約10分間)については社協YouTubeアカウントにて限定公開中です(令和6年6月30日まで)。

※閲覧用QRコードは各資料1枚目に掲載しています(動画の無断転用・転載等はお控えください)。

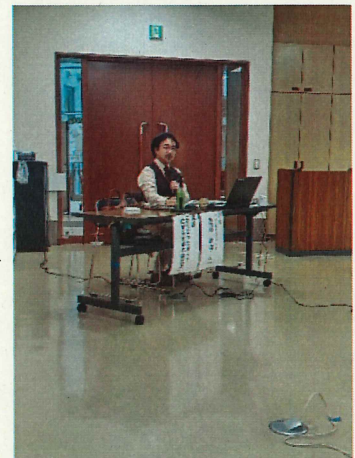


講演「新たなつながりで広がる地域の福祉力」 菱沼 幹男氏（日本社会事業大学 教授）

《誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる街を目指して》

講演トピックス♪

- ・なぜ地域の支え合いが大切なのか
- ・地域で暮らすために何が必要か
- ・地域で幸せに暮らすためには何が必要か
- ・住民による支えあい活動の意義
- ・生活支援体制整備事業、重層的支援体制整備事業



報告「さりげない見守り活動」 報告者：高砂共笑会 石戸和夫氏、高橋令子 氏



《活動方針》

- ・この活動を通して住民同士がつながり顔の見える関係を築く
- ・わが町や住民に親しみを感じ、近隣を気にかけて合いながら安心して暮らせる共生社会の実現に向けた取り組みを目的とする

報告トピックス♪

- ・活動が始まった経緯
- ・活動内容 ・現在の活動状況 ・今後の活動展望



石戸 氏



高橋 氏

グループトーク（情報交換）



数名のグループに分かれ、各地区の状況共有と1部の講演・報告を聞いての感想の共有、今後行ってみたいと思う活動について等、情報交換してもらいました。





# 令和5年度地域住民福祉活動情報交換会 参加者アンケート

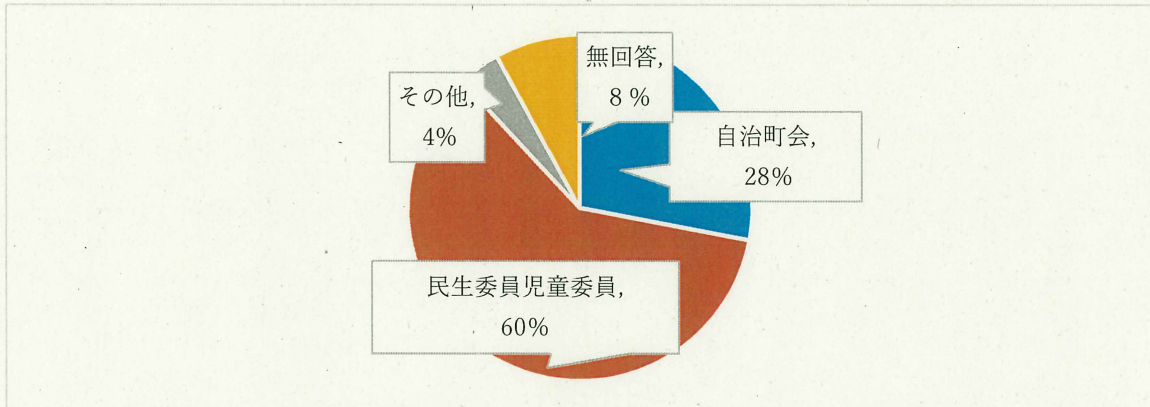
集計結果

回答 23人 参加者 31人

## ■所属

自治町会	民生委員児童委員	その他※	無回答
7	15	1	2

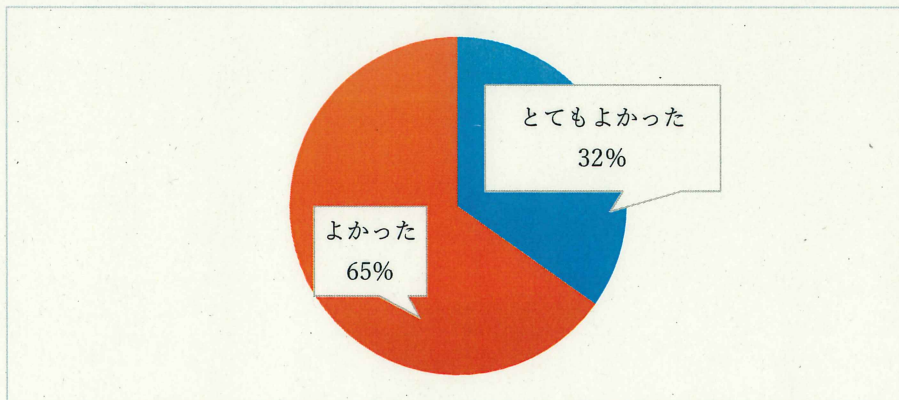
※その他【小松菜いちょう倶楽部】



## ■講演についてお聞きします

1. 菱沼幹男教授による「新たなつながりで広がる地域の福祉力」について…いかがでしたか？

とてもよかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった	無回答
8	15	0	0	0



### 自由意見

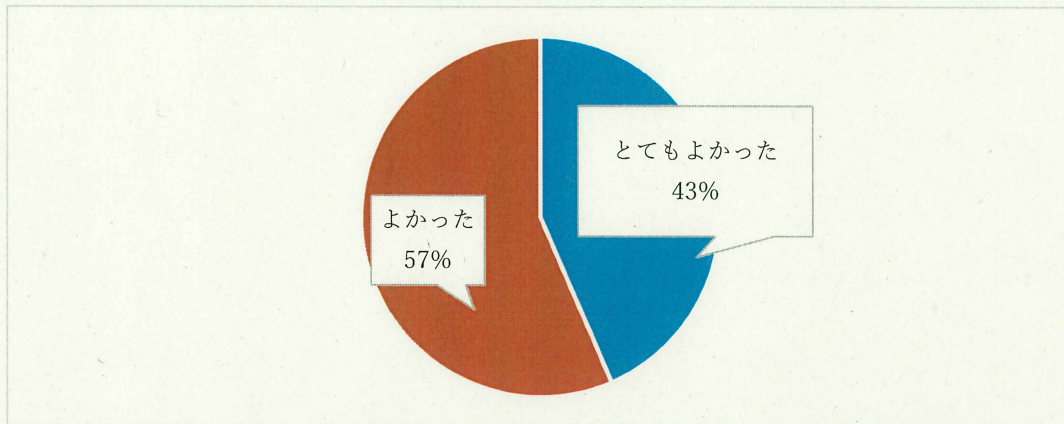
- ・小地域活動というより、民生委員活動で必要なお話だったようで、わかりやすく良かったです。
- ・高齢者に対しての全面的な事がわかりました。
- ・とても分かりやすいお話で勉強になりました。事例でお話して下さった事がとても良かったです。



## ■活動報告についてお聞きします

### 2. 「高砂共笑会 さりげない見守り活動」の事例報告・・・いかがでしたか？

とてもよかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった	無回答
10	13	0	0	0



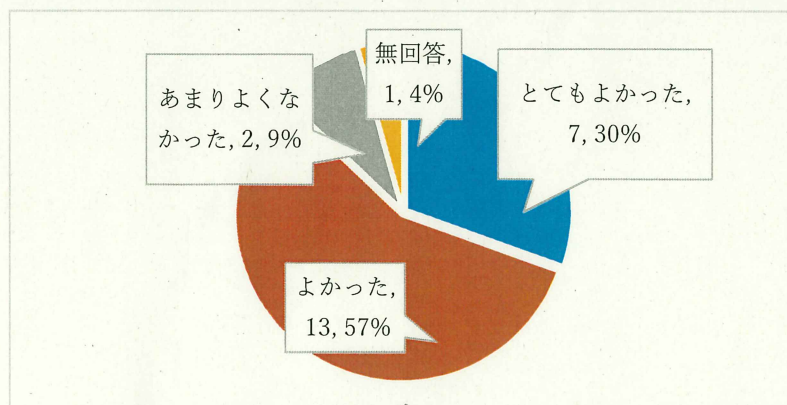
#### 自由意見

- ・各町会単位迄、活動を広げた事は大変良かったと思う。合意形成が良くできたと思います。
- ・さりげない見守り活動はとても必要な事だと思います。町会等の方々の考え方、楽しんで何もしない町会も多いと思いますので、まとまりのある町会でよいですね！
- ・町会が福祉活動を進めているのが参考になりました。
- ・こんな活動が出来るのかと感心しました、何ともご協力して下さる方々に感心です。
- ・広報を作って町会の人達にお知らせしているとのことだが、作成は大変だと思うので、町会の人もこれを見て興味湧くのではないだろうか。
- ・小地域福祉活動としては、19 地区目の活動開始とのことですが、良く考えられた活動だと感心しました。只、役員のなかに民生委員にもっと入ってもらいたいと思いました。
- ・見守りで見守られる事を3人で一緒にするという考えが新鮮で良かったです。
- ・私の町会でも行いたいので、町会に持ち帰り検討したいと思います。
- ・住民同士で支え合う活動がよいと思います。

## ■情報交換会についてお聞きします

### 3. グループでの情報交換・・・いかがでしたか？

とてもよかった	よかった	あまりよくなかった	よくなかった	無回答
7	13	2	0	1





### 自由意見

- ・時間がありません(足りません)でした。
- ・時間が少ないからテーマを決めて話し合いの方が良いのでは。
- ・時間的に短くて、記録も難しかったです。
- ・自己紹介でほとんど時間をついやしてしまいました。皆さん同じように情報不足を感じています。
- ・高砂の方が司会等をしてくださったので、スムーズに話し合いができました。
- ・小地域福祉活動の取り組みについて、民生・町会長の役割がうまくいってないと感じています。
- ・町会と民生委員との関係(?)協力の必要性があると思いました。
- ・いろいろな地域の活動が聞けました。みんな一生懸命されていました。
- ・いろいろな方の話しが聞けて勉強になりました。
- ・活動時の大変だったことが聞けてよかったです。

4. 今回の情報交換会を通して、今後の活動の参考になりそうなことや、役立ちそうなこと、実践してみたいこと等がありましたか。どんなことか、ぜひ、ご記入ください。

### 自由意見 ・ 感想

- ・町会等がしっかり活動に入っていただくことが大事と思いました。
- ・町会と民児協がより近づく必要があると感じました。町会は福祉にあまり感心がないように感じてしまいます。
- ・ともえ会、サロン活動。
- ・時間がある限り見守りが必要だと思いました。
- ・さりげない見守りの大事さを知りました。
- ・誰を見守り対象にするか、どのようにしてその情報を得たら良いのかは疑問。
- ・個人情報にはばまれて見守りが困難である事は共有出来たと思います。
- ・交流会やサロンに集まった人と「見守り」について話し合い、見守りを希望しているかどうか確かめることもできそうです。
- ・他の地区の取り組みを聞いて良かったです。
- ・高齢者に情報紙など配布する事も大切なことだと思いました。

5. 本日、または今後の「地域住民福祉活動情報交換会」へのご感想・ご意見がありましたらご記入ください。また、今後の情報交換会で取り上げてほしいテーマ等がありましたらご記入ください。

- ・2部構成のやり方がとても良かったです。
- ・もう少し時間が必要なのでは。
- ・先行する事例の紹介(各地区での)を知りたいです。
- ・見守りは大切だが、高齢者について(アパートの住民等)資料がないの、見守りもなかなか難しいと思います。



葛飾区社会福祉協議会  
地域住民福祉活動情報交換会

## 新たなつながりで広がる 地域の福祉力

2024年3月21日

日本社会事業大学社会福祉学部  
教授 菱沼 幹男

菱沼先生  
講演郵配



講演開始  
から

約40分のデータは  
上記QRコードより  
限定公開しております  
(6/30まで)

### 誰もが住み慣れた地域で 安心して暮らせる街を目指して

#### なぜ地域の支え合いが 大切なのか

行政では  
できないこと  
があるから?

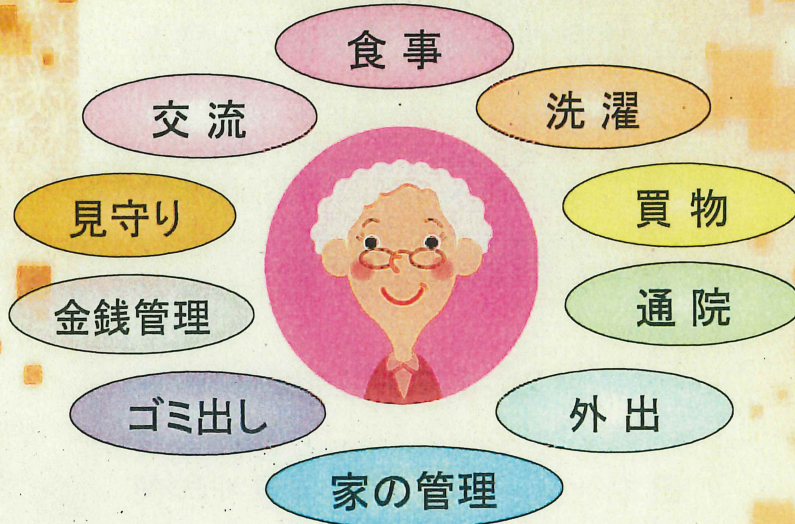
住民は行政が  
できないことを  
やるの?

自分は地域の人  
でなく専門職に  
支えてほしいな

公的サービスの限界を**住民活動**で補うのか  
**住民活動**の限界を**公的サービス**で補うのか



## 地域で暮らすために何が必要か



サービス志向でなく、問題志向で生活を丁寧に見ること

## 地域で幸せに暮らすためには 何が必要か

あなたが幸せに暮らすためには  
何が必要か、お金と家以外に  
3つ考えてみましょう。

手段的支援と情緒的支援



## なぜ、地域なのか

地域には専門職が代わることのできない人間関係や居場所がある

### 社会関係の継続・開発

会いたい人は誰か  
行きたい場所はどこか

## デンマークの高齢者ケア3原則

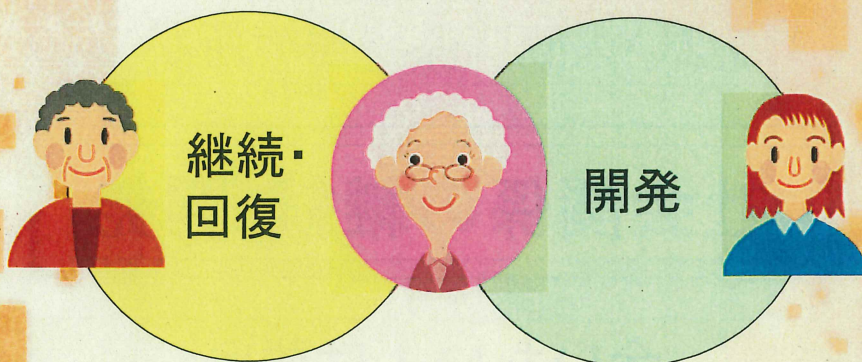
自己決定の尊重

自己能力の活用

社会関係の継続



## 豊かな人間関係への支援



## 私たちの生活の不安とは

- ①生まれてくることへの不安(産むことへの不安)
- ②職を失うことへの不安
- ③病気になることへの不安
- ④社会的孤立・孤独への不安
- ⑤不本意に死を迎える不安
- ⑥老後生活への不安(年をとることへの不安)
- ⑦教育機会喪失の不安

岡沢憲英『スウェーデンの挑戦』岩波新書 1991年



## 社会的孤立がもたらすもの

生きがいの低下

消費者被害

食事の偏り

犯罪

健康の悪化

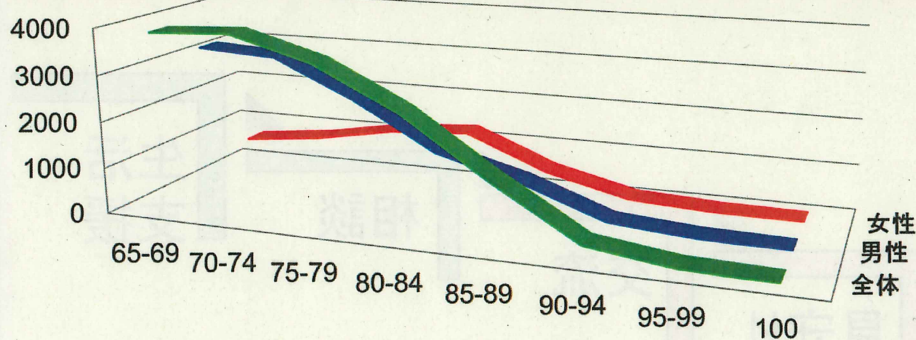
災害時の放置

孤立死

自殺

## 全国の高齢者の孤立死数の推計

死後4日以上経過 15,603人



	65-69	70-74	75-79	80-84	85-89	90-94	95-99	100
■全体	3873	3956	3463	2584	1380	294	53	0
■男性	3220	3112	2306	1302	831	175	34	0
■女性	653	844	1157	1282	549	119	19	0

平成22年度セルフ・ネグレクトと孤立死に関する実態把握と地域支援のあり方に関する調査研究報告書

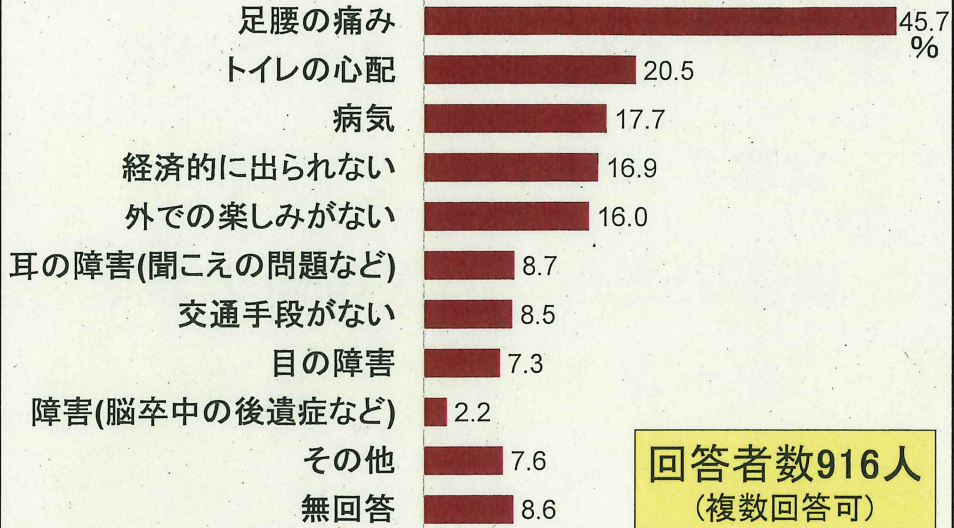
10



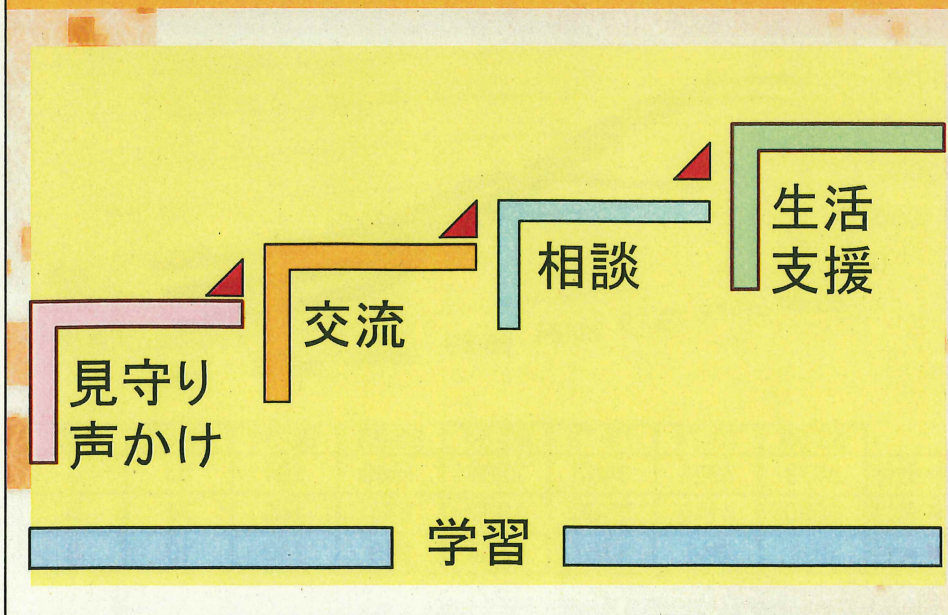
# 高齢者が外出を控えている理由

『相模原市高齢者等実態調査報告書』平成29年3月

高齢者一般調査(市内在住65歳以上の高齢者:要介護・要支援除く)



# 住民の力を生かす地域活動





## 見守り声かけ活動のポイント

合意なき見守りは善意の監視

誰に見守られたいか、どこを見てほしいか、本人の思いを大切にする

本人から聞いた話を許可なく  
他人に話さない。

見守るだけでなく、声をかける。

なぜ閉じこもりがちなのかを考える

## 相手が関わりを拒否する場合

声かけでなく 気にかけて

気づきを専門職に伝える

ライフラインとの連携・協定

専門職はタイミングを見逃さない

家庭訪問する専門職を明確に



## 小地域での高齢者アンケート調査 ～埼玉県上里町～

**調査範囲** 上里町賀美小学校地区  
**調査対象** 要介護認定を受けていない80歳以上の方  
**調査方法** 民生委員が調査票を配布し、後日訪問回収  
**調査期間** 2018年8月～10月  
**回答者** 191名(対象者210名)

未回答者は回答拒否、長期入院中、別の場所に居住中

## 買い物の状況

誰が	自分	家族	親族	宅配	近所の人	友人	その他	行けずにいる	無回答
延べ人数(人)	122	98	12	5	2	2	2	2	5

どのように	自動車 自分が運転	自動車 自分以外が運転	自転車	徒歩	その他	無回答
延べ人数(人)	65	61	35	34	1	32

どの程度	週1～2日	週3～4日	ほぼ毎日	その他	無回答
(人)	66	51	24	3	47

どこへ	イオンヘルク	カインズベイシア	とりせん	トライアル	ユニクスヤオコー	アグリパーク	アオキ	コンビニ	フレッシュ	宅配	移動販売	無回答
延べ人数(人)	65	33	9	8	3	2	2	2	1	1	1	107

■家族がやると回答した方は、自分で買い物にいけない場合と、家族の役割になっている場合がある

■親族や近所の人、友人に頼んでいる方もいる

■ほとんどの方が大型店を利用している



## ゴミ出しの状況

誰が	自分	家族	親族	友人	その他	近所の 人	ゴミが 出せずに いる	無回答
延べ人数(人)	113	84	10	1	1	0	0	2

どのように	全て自分 がやる	出す時 だけ他者 がやる	全て他者 がやる	その他	無回答
延べ人数(人)	99	37	29	1	27

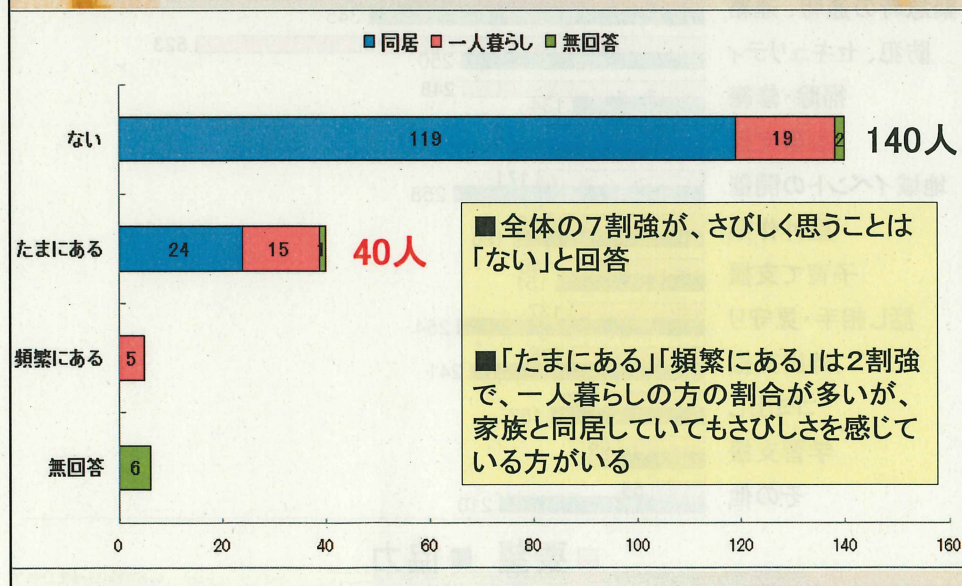
  

どの程度	ほぼ 毎日	月に 数回	その他	無回答
(人)	78	59	2	52

■家族がやる方は、自分でゴミ出しができない場合と、家族の役割になっている場合がある

■親族や友人にやってもらっている方もいる

## 普段さびしく思うことがあるか



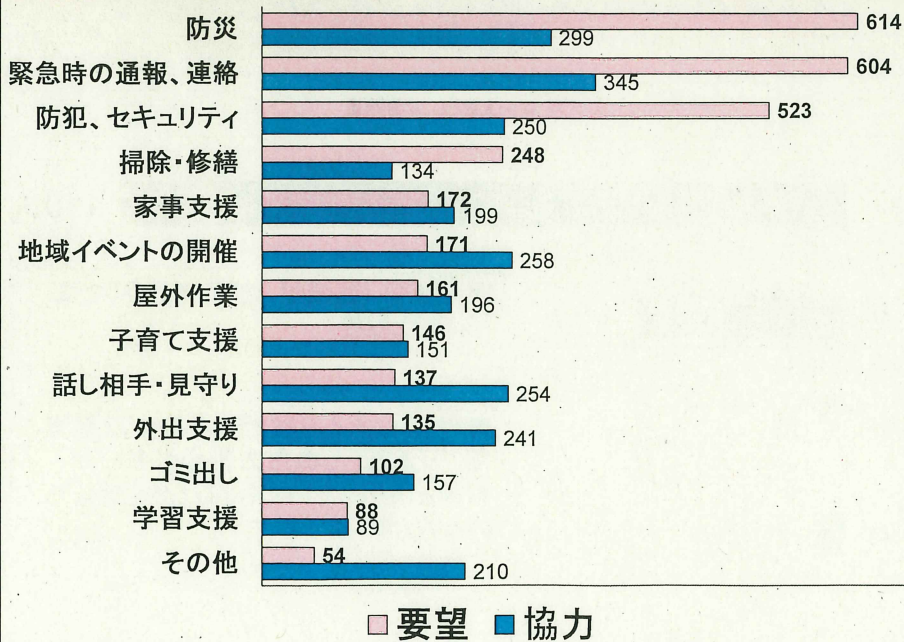
14



## 小地域での全世帯アンケート調査 ～東京都府中市～

調査範囲	府中市押立町・車返団地地区
調査方法	自治会等の協力を得て戸別配布、回収
配布数	10,074部
回収数	2,497部
回収率	24.8%
分析対象	1,608名

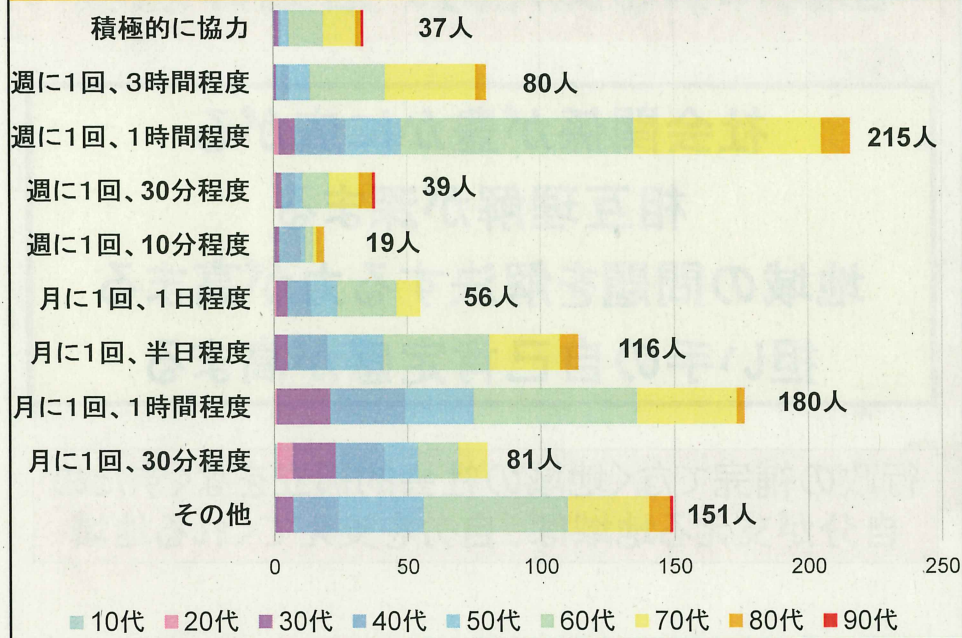
### 支援の要望と協力



15



## 【年齢別】協力できる頻度



## 全世帯アンケートの留意点

1世帯1部でなく、世帯人数分を配布

困りごとだけでなく、活動への意向も把握  
関心のある活動、活動可能な曜日・時間帯等

任意で連絡先を把握(見えないように回収)

さみしさを感じているかの把握も大切

報告会を開催して集まる場を設ける

16



## 住民による支えあい活動の意義

社会関係が豊かに広がる  
相互理解が深まる  
地域の問題を解決する力が高まる  
担い手の自己肯定感が高まる

行政の補完でなく地域の社会的孤立をなくすため  
自分が支える地域は、自分を支えてくれる地域

## 地域づくりに関する政策

目標

地域共生社会の実現

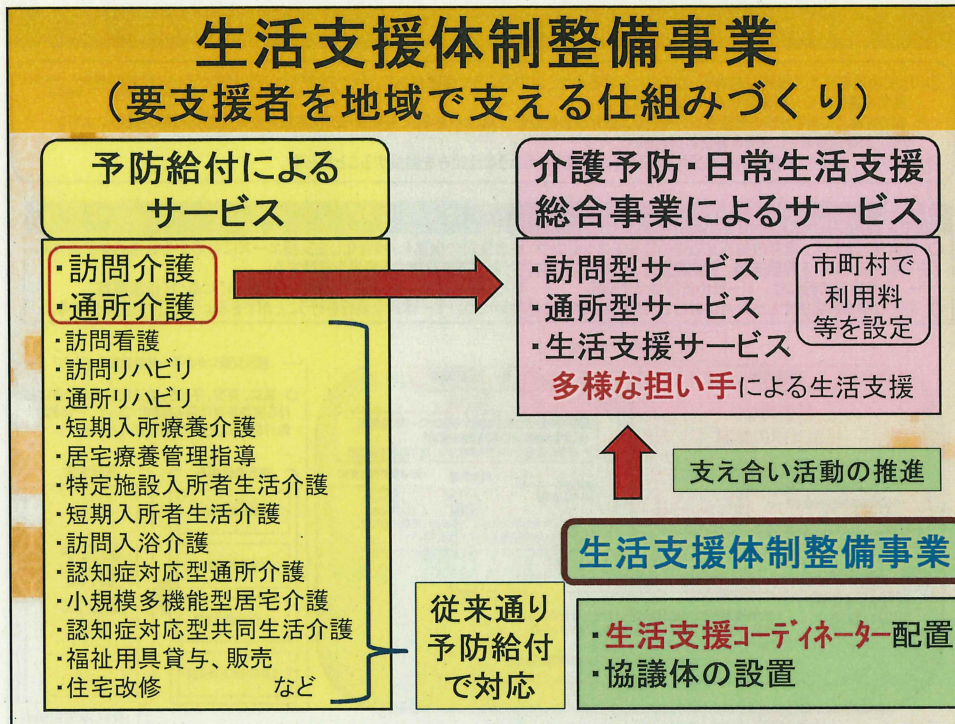
課題

包括的支援体制の構築

方法

重層的支援体制整備事業  
生活支援体制整備事業等





## 地域共生社会の実現のための 社会福祉法等の一部を改正する法律

2020年6月12日公布、2021年4月1日施行

### 重層的支援体制整備事業

- 個人、家族、関係者への**包括的相談支援**
- 社会生活を営む上での困難を有する者への訪問、活動**機会の提供、社会参加への支援
- 地域社会に**参加する機会を確保**するための支援
- 地域生活課題の**発生の防止又は解決**に係る体制の整備
- 地域住民相互の交流を行う**拠点の開設**等の援助
- 複数の支援関係機関相互間の**連携体制**の整備
- 支援が必要であると市町村が認める**地域住民**に対し、包括的かつ計画的な支援

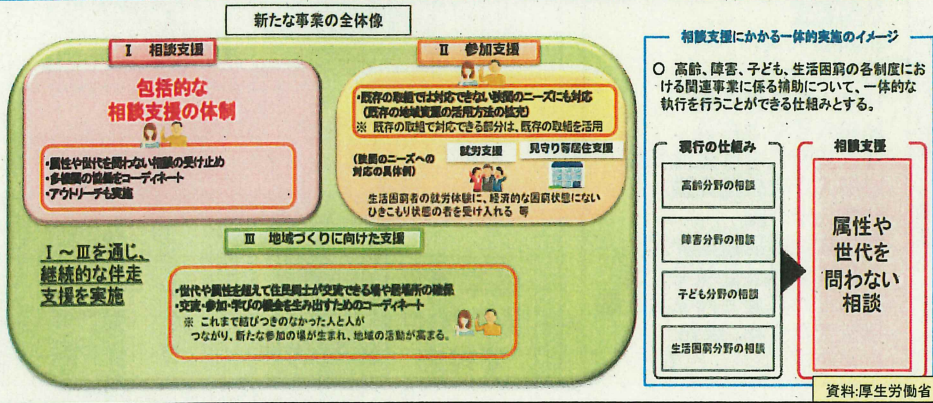


1. 地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する市町村の包括的な支援体制の構築の支援

- 地域住民が抱える課題が複雑化・複合化(※)する中で、以下のような課題がある。(※)一つの世帯において複数の課題が存在している状態(8050世帯や、介護と育児のダブルケアなど)、世帯全体が地域から孤立している状態(こみ屋敷など)
- ・ 従来の属性別の支援体制では、対応が困難。
- ・ 属性を超えた相談窓口の設置等の包括的な支援体制の構築を行う動きがあるが、各制度毎の国庫補助金の制度間流用にならないようにするための経費按分に係る事務負担が大きい。
- このため、市町村が包括的な支援体制を円滑に構築できるような仕組みを創設することが必要。

社会福祉法に基づく新たな事業の創設

- 市町村において、既存の相談支援等の取組を活かしつつ、地域住民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援体制を構築するため、**I 相談支援、II 参加支援、III 地域づくりに向けた支援を実施する事業を創設する。**
- 事業実施の際には、I~IIIの支援は全て必須 - 新たな事業は実施を希望する市町村の手あげに基づく**任意事業**
- 新たな事業を実施する市町村に対して、関連事業に係る補助等について一体的な執行を行うことができるよう、**交付金を交付する。**



これからの地域福祉活動に向けて

地域に埋もれている新たな担い手とのつながり

社会福祉法人の社会貢献活動とのつながり

企業の商売・社会貢献活動とのつながり

学校の福祉教育活動とのつながり

テーマ型活動とのつながり

**地域で必要な活動・人材を明確に**

「これ、お願いできない?」「できる人知らない?」

「支援の対象者」も「支援の担い手」に

19



私達が生き生きと暮らすために  
欠かせないこと

互助活動

居場所

役割

人間関係

社会制度

経済的安定

豊かな人間関係と社会的役割の創出



## ◇プロフィール

◎菱沼 幹男 (ひしぬま みきお)

日本社会事業大学 社会福祉学部福祉計画学科 教授  
社会福祉士・介護支援専門員・博士 (社会福祉学)

(経歴) 狭山市社会福祉協議会、NPO法人日本地域福祉研究所、高齢者デイサービスセンター  
オリーブ生活相談員、大妻女子大学実習講師、文京学院大学助教等を経て現職

(専門分野) 地域福祉、高齢者福祉、コミュニティソーシャルワーク

(現在の主な社会的活動)

- ・NPO法人日本地域福祉研究所 理事
- ・日本地域福祉学会 理事
- ・日本福祉教育・ボランティア学習学会 理事・事務局長
- ・社会福祉法人杉並区社会福祉協議会 理事
- ・社会福祉法人飯能市社会福祉協議会 理事
- ・社会福祉法人東京聖労院 評議員
- ・東京都足立区「地域保健福祉推進協議会」委員長
- ・東京都板橋区「介護保険事業計画委員会」副委員長
- ・東京都板橋区社会福祉協議会「地域福祉推進委員会」副委員長
- ・東京都大田区「居住支援協議会」副委員長
- ・東京都大田区社会福祉協議会「地域福祉コーディネーター事業」アドバイザー
- ・東京都杉並区社会福祉協議会「地域福祉活動計画策定委員会」委員長
- ・東京都品川区「地域福祉計画推進委員会」委員長
- ・東京都品川区社会福祉協議会「地域福祉活動計画にかかる地域協議会」委員長
- ・東京都世田谷区社会福祉協議会「住民活動計画策定委員会」委員長
- ・東京都稲城市社会福祉協議会「地域福祉コーディネーター」アドバイザー
- ・東京都清瀬市「図書館協議会」会長
- ・東京都清瀬市「地域福祉推進協議会」委員長
- ・東京都西東京市社会福祉協議会「地域福祉コーディネーター事業」アドバイザー
- ・東京都府中市「福祉のまちづくり推進審議会」副委員長
- ・東京都府中市社会福祉協議会「地域福祉活動計画推進委員会」副委員長
- ・東京都武蔵村山市社会福祉協議会「地域福祉コーディネーター事業」アドバイザー
- ・埼玉県入間市「地域福祉計画策定委員会」委員
- ・埼玉県入間市社会福祉協議会「地域福祉活動計画策定委員会」アドバイザー
- ・埼玉県上里町「生活支援体制整備事業」アドバイザー
- ・埼玉県さいたま市社会福祉協議会「地域福祉推進委員会」副委員長
- ・埼玉県志木市・志木市社会福祉協議会「地域福祉推進委員会」委員長
- ・埼玉県鶴ヶ島市・鶴ヶ島市社会福祉協議会「地域福祉推進委員会」委員
- ・埼玉県飯能市・飯能市社会福祉協議会「地域福祉審議会」「地域福祉活動計画推進委員会」会長
- ・埼玉県日高市・日高市社会福祉協議会「地域福祉計画策定等委員会」委員
- ・千葉県千葉市社会福祉協議会「CSW事例検討会」アドバイザー
- ・千葉県船橋市社会福祉協議会「地域福祉活動計画推進委員会」委員長
- ・茨城県那珂市「地域福祉活動計画推進委員会」委員
- ・静岡県掛川市社会福祉協議会CSWアドバイザー
- ・徳島県北島町生活支援体制整備事業アドバイザー

※H27～28年度 厚生労働省生活支援コーディネーター指導者養成研修講師

※H29～R2 NHKラジオ「社会福祉セミナー」地域福祉担当講師

(主な著書)

- ・『コミュニティソーシャルワーク』有斐閣 (単著) R6.3
- ・『コミュニティソーシャルワークの新たな展開』中央法規 (編著) H29.6 他



# 高砂地区小地域福祉活動推進委員会

## 高砂共笑会

### — さりげない見守り活動 —

～令和5年度 地域住民福祉活動情報交換会 令和6年3月14日～

1

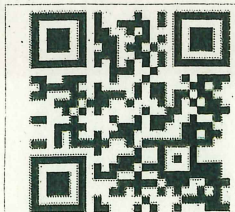
- 1 推進組織の紹介
- 2 活動が始まった経緯
- 3 活動内容
- 4 現在の活動状況
- 5 今後の活動・展望

※報告後、菱沼先生のセリベリ(Q&A)

動画データは

こちら →

(限定公開)：6/30まで



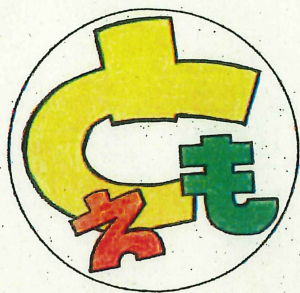
22

## 目次

2



## 1. 推進組織の紹介



### 【組織名称】

高砂地区小地域福祉活動推進委員会  
高砂共笑会

### 【構成員】

石戸和夫・橋本文枝・石川富雄・月村富次・戸張雅夫・関根政義  
岩堀茶子・高橋令子・澤口勝江・中村千乃里・有安忠男（計11名）

### 【活動開始年度】

平成28年度(平成29年3月)

3

### 【活動の方針】

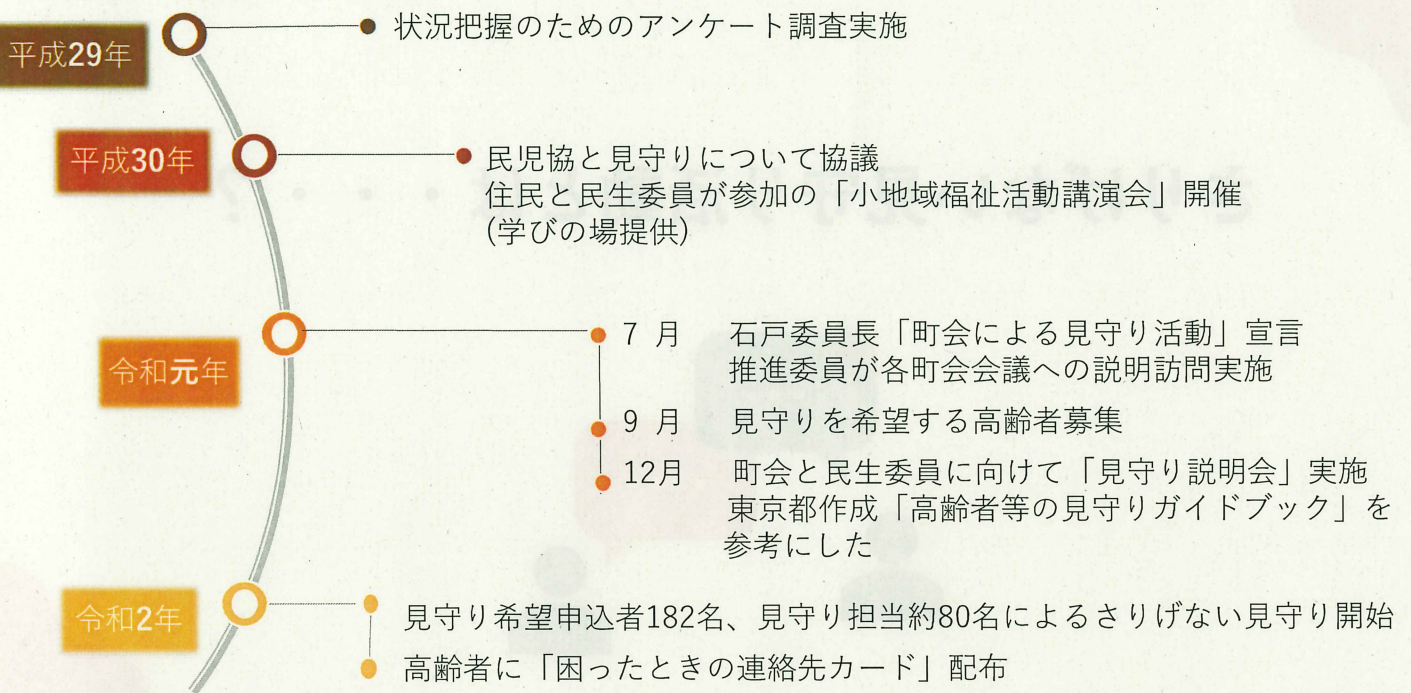
- ・ 地域住民による高齢者への**さりげない見守り**を通して住民同士がつながり顔の見える関係を築く
- ・ わが町や住民に親しみを感じ、近隣を気にかけて合いながら安心して暮らせる共生社会の実現に向けた取り組みを目的とする



4



## 2.活動が始まった経緯



24



## さりげない見守り活動とは・・・？



7

### 3.活動内容

①70歳以上高齢者の見守り希望者が申込み

②町会で近隣の見守り担当者を決める

③高齢者に「困ったときの連絡先カード」  
を担当者や民生委員が配布

8





## 見守りを希望する高齢者を募集するポスター

### 見守りを希望する高齢者を募集しています

高砂共栄会（高砂地区小地域福祉活動推進委員会）では、地域にお住まいの70歳以上のおみなさまに、安心して毎日を過ごしていただくために、地域で見守り活動をしています。すでに、200人の方がお申込みされています。

地域でのさりげない見守りをご希望の方は、お住まいの町会・自治会の代表者または地域の民生委員あるいは高齢者総合相談センター高砂にご連絡ください。お待ちしております。

高齢者総合相談センター ☎03-5889-8600

高砂共栄会では、葛飾区社会福祉協議会の支援により、高砂地区町会連合会、高砂地区民生委員児童委員協議会、高齢者総合相談センター高砂、高砂地区センターが協力して、ささえあいのまちづくりを推進しています。

高砂共栄会（高砂地区小地域福祉活動推進委員会）

### 見守り活動のご案内 兼 申込用紙

高砂共栄会（高砂地区小地域福祉活動推進委員会）では、地域にお住まいの70歳以上のおみなさまに、安心して毎日を過ごしていただくために、地域で見守り活動をしています。

地域でのさりげない見守りをご希望の方は、お住まいの町会・自治会の代表者または、地域の民生委員（裏面参照）あるいは高齢者総合相談センター高砂（☎03-5889-8600）にご連絡ください。お待ちしております。

高砂共栄会では、葛飾区社会福祉協議会の支援により、高砂地区町会連合会、高砂地区民生委員児童委員協議会、高齢者総合相談センター高砂、高砂地区センターが協力して、ささえあいのまちづくりを推進しています。



高砂共栄会（高砂地区小地域福祉活動推進委員会）

#### 【高砂共栄会による見守り希望申込用紙】

この申込用紙にご記入いただいた個人情報は、高砂共栄会の見守り活動のために使用し、他者に伝えることはありません。

高砂共栄会の見守りを希望します。 令和 年 月 日

ふりがな	生年月日	年	月	日
氏名				
住所	電話			

自治会会費別添 自治会の方へ、担当者を決定して高砂共栄会にお知らせください。

自治会名	電話
町会担当者	

## 見守り活動のご案内 兼 申込書



## 困ったときの連絡先カード（表面）

<small>たかさごともえかい</small> <b>【 高砂共笑会 「困ったときの連絡先」 】</b>		
お名前	〇〇 △美 様	細田5丁目町会
民生委員	□□ ▽男	電話 1234-5678
町会担当	△△ 〇〇郎	電話 090-1234-567*
町会長	△〇 □子	電話 080-9876-543*
高齢者総合相談センター高砂 (葛飾区高砂3-27-12)	平日 午前9時～午後7時	
	土曜日 午前9時～午後5時30分	
	電話 5889-8600	
	FAX 5889-8601	
葛飾区役所 高齢者相談係	電話 5654-8257	
	FAX 5698-1531	
救急相談センター(救急車を呼ぶか迷ったとき)		電話・ネット #7119

令和4年3月29日

11

## 困ったときの連絡先カード（裏面）

※困って、だれかと連絡をしたいときにお電話ください。

※電話がつながらないときは、少し時間をあけてもう一度電話するか、つぎの連絡先に電話してください。

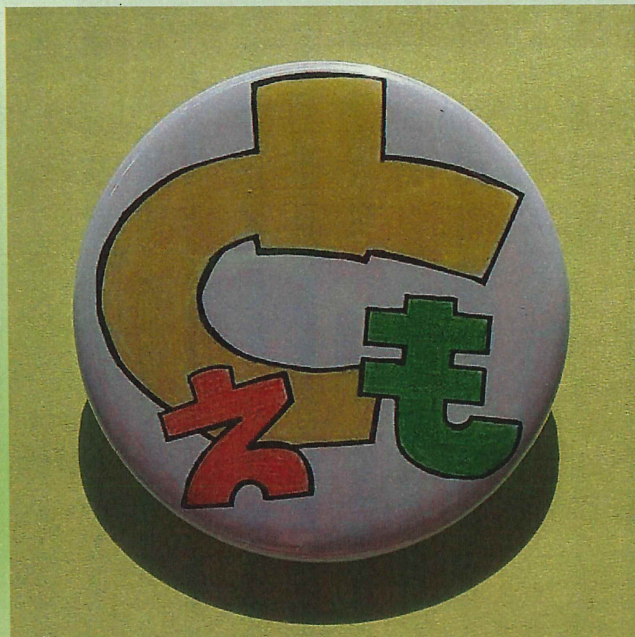
- ◆ 朝から体調が悪くて心配なとき
- ◆ けがをして動けないとき
- ◆ 食事や水分が十分とれていないとき など

12

27



## 見守り活動のときに着用するバッジ



13

### 日常的には、さりげない見守り

- ▶ 自宅の前を通ったときに洗濯物やポスト、鉢植えを見て変りないことを確認する。
- ▶ 外で会ったら挨拶を交わす。



困りごとなどは、民生委員や包括にすぐ知らせる。

**緊急連絡**が高齢者からあったら民生委員や包括に連絡し対応してもらおう。

14



## 4.現在の活動内容

### コロナ過でもさりげない見守りを継続

高齢者から特に緊急連絡はなかったが、訪問等でお会いすれば相談されることもあり、民生委員や包括に連絡して対応をお願いした。  
この期間に見守り担当者は、高齢者を気にかけていた。

### 『繋がり』を考える

令和4年12月の見守り担当者対象のアンケート調査では「お便り」などによる繋がり方に関する意見もあり、広報誌の発行に繋がった。

15

## 令和5年10月 第1回見守り担当者交流会を開催

対象者 : 見守り担当者、町会長、民生委員

出席者数 : 61名

内 容 : アイスブレイク  
グループワークで地域の思いや課題を共有  
各グループ発表



16





交流会の様子♪

軽食に  
サンドウィッチ





## 5. 今後の活動・展望

### — 今後の活動 —

- 💡 見守り担当者のアイデアから「—高砂地区がつながるための広報誌—高砂共笑会だより」を令和6年から発行  
(第一号は10月の交流会報告・高砂共笑会の紹介を掲載)  
配布対象者：高齢者、見守り担当者、民生委員、町会長

- 💡 感想や意見を言える電話窓口欄をつくり、読み手の声を聞く

高砂共笑会と地域が  
顔の見える関係をつくる♪



19

### — 今後の展望 —

共生社会の実現に向けて高齢者から子どもとその家族、障がいのある方などを、近隣で気にかけてあう地域に発展できるように、見守りや声掛け活動を広げていきたい。

20





# 高砂共笑会だより 創刊号

発行:高砂地区小地域福祉活動推進委員会 高砂共笑会  
発行者:推進委員長 石戸和夫〈高砂地区連合町会長〉

## ごあいさつ

ともえかい  
高砂共笑会推進委員長:石戸和夫



年が明け、令和6年を迎えました。元旦の能登半島地震におきましては、被災した皆様に心からお見舞いを申し上げます。また、私たちは地震国日本で暮らしているのだと認識を新たにしました。日常の暮らしの中で「住民どうしがつながる関係づくりの大切さ」をより強く感じているところです。

皆様は高砂共笑会の名前の由来をご存知でしょうか。「共に笑顔で暮らしましょう」という願いをこめまして、2017年に高砂地区小地域福祉活動推進委員会の通称名を、高砂共笑会といたしました。

高砂地区にお住まいの高齢者の皆様の見守りを通して、地域の人々がつながり、顔の見える関係づくりをすすめたいと、地域の皆様と協働で小地域福祉活動に取り組んでいます。

この度、見守りを担当されている皆様と高齢者の皆様がつながるしくみとして、広報誌を発行することになりました。委員たちとアイデアを出し合っ、「読むのが楽しみ」と手に取ってもらえる広報誌の発行をめざします。どうぞよろしくお願ひします。

地域の皆様と共に力を合わせて良い年にしていきたいと高砂共笑会は願っております。

## 発刊にあたって

編集長:戸張雅夫



昨年秋、コロナ対策にも落ち着きが見られるようになった10月27日に高砂共笑会交流会を開催しました。高砂地区の見守り担当のみなさんや民生委員の方々に多数ご出席をいただき、たくさんのお話を聴くことができました。ありがとうございます。

高砂共笑会では2019年から、高砂地区にお住まいの見守りを希望された高齢者の皆さんを地域で見守りしています。

昨年12月に見守り担当の皆さんからアンケートをお寄せいただきました。その中で、「ご近所どうして気かけあいながら暮らしていけることを望んでいます。」「高齢者の方と顔の見える関係をもつことができれば安心です。」というお声がありました。そこで、地域に住む皆さんがつながることができるように、高砂共笑会の広報誌を発行することにいたしました。

この高砂共笑会だよりの配布は、見守り担当の方にお願ひしました。お留守のときなどポストにお入れすることもあります。お手元に届きましたらお手にとってくださいると嬉しいです。

楽しくわかりやすい広報誌にしたいと思っています。皆様のご意見やアイデアをいただきながら長く読まれる広報誌をめざしています。ご支援ご協力お願ひいたします。



## 高砂共笑会のあゆみ

これまでの高砂共笑会の活動をふりかえります。

### 平成 28 年度(2016)

- ▶ 平成 29 年 3 月 第 1 回推進委員会
  - ◆ 高砂地区連合町会長(高砂南町会長)の大熊健司氏が推進委員長に就任。(葛飾区として 19 番目)

### 平成 29 年度(2017)

- ▶ 平成 29 年 6 月 第 2 回推進委員会
  - ◆ 高砂地区の状況把握のためアンケートを行うこととした。
  - ◆ アンケートの結果、地域ではすでにさまざまなイベントが実施されていることがわかった。
- ▶ 平成 29 年 9 月 第 3 回推進委員会
  - ◆ 高砂地区小地域福祉活動推進委員会の通称を「高砂共笑会」と決定した。(高砂地区の人たちが共に笑顔で暮らせる町をめざす)

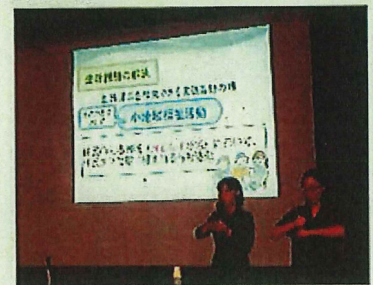
### 平成 30 年度(2018)

- ▶ 平成 30 年 7 月 高砂地区民生委員児童委員協議会
  - ◆ 高砂共笑会が行う見守り活動の推進について説明を行い、意見をお伺いした。
  - ◆ この時点では、見守り活動の趣旨には賛同するが、町会与民生委員が一緒になって行うべきである、小地域福祉活動を始めたばかりなので時期尚早であるという意見が大勢を占めていた。

- ▶ 平成 30 年 8 月 高砂共笑会ののぼり旗と横断幕を作成

- ▶ 平成 30 年 9 月 小地域福祉活動講演会開催

- ◆ 講師:洗足こども短期大学  
専任講師  
板倉香子先生



- ◆ 参加者:65 名
- ◆ 先進地区の状況などを学び、小地域福祉活動への理解を深めた。
- ◆ 手話通訳者も依頼した。
- ◆ アンケートを実施:「もし一人暮らしであったら、見守りをしてほしい」という回答が 8 割あった。
- ▶ 平成 31 年 3 月 第 5 回推進委員会
  - ◆ 平成 31 年度の活動方針として、高砂地域でイベントを行うことは難しいこと、またイベントに出ていくことが難しい高齢者のための活動として「高齢者の見守り活動」を推進することに決定した。
  - ◆ 見守り活動の方法について、東京都福祉保健局発行の「高齢者等の見守りガイドブック」を参考に検討することとした。

## ◆ 高砂共笑会推進委員紹介

高砂北町会の橋本です。地域の方々のみまもりを強化したいと思います。よろしくお願いいたします。

私は高砂地区町会連合会副会長、高砂共笑会副委員長を兼任し、高砂一丁目町会会長です。石川富雄

地域の皆さん、高齢者の皆様が安全に楽しく暮らしていける事を願いこの活動に参加しております。月村富次

高砂南町会会長の関根です。これからも、諸先輩達の御意見を聞いて、がんばります。

民生委員の岩堀です。名前の通り、共に笑顔になれる紙面作りを心掛けたいと思います。

共に歩み育む広報誌▶皆様のお声をお寄せください  
高橋令子 高砂共笑会窓口 ☎090-8454-2658

鎌倉地区担当の澤口勝江と申します。地域の方々と共に、見守り活動を行っていきます。

高齢者総合相談センターでは、見守りをしていて心配な方がいた時一緒に対応します。所長:中村千乃里

地域のみなさまとともにがんばってまいります。よろしくお願いいたします。高砂地区 C 長:有安忠男。



●編集後記  
編集創刊号、高砂共笑会のことをお伝えできたでしょうか。第2号の発行に向けて思案しています。(高橋)



## 令和元年度(2019)

- ▶ 令和元年 7月 第2回推進委員会
  - ◆ 高砂地区連合町会長(細田5丁目町会長)の石戸和夫氏が推進委員長に就任。
  - ◆ 石戸委員長から、高砂地区連合町会としても見守り活動を推進したいとお話があり、高砂地区の見守り活動が大きく進展することとなる。

## ▶ 令和元年 8月

- ◆ 高砂共笑会推進委員が各町会の会議に出向き、高砂共笑会の趣旨や見守り活動について、ご理解・ご協力がいただけるように説明を行った。

## ▶ 令和元年 9月 見守りを希望する高齢者の募集開始

## ▶ 令和元年 12月 全町会を対象とした見守り活動説明会を開催

- ◆ 見守りを実施する町会関係者に対して①さりげない見守りについての説明、および②町会ごと



に見守りの方法について話し合いを行った。

- ◆ 参加者:9町会 54人

- 令和2年3月 新型コロナウイルスによる影響が日本全国に広がる

## ▶ 令和2年3月 第4回推進委員会

- ◆ 見守り希望の申込者が182名あったことが報告された。

## 令和2年度(2020)

- 新型コロナウイルスによる影響が続く

## ▶ 地域による見守り活動が開始される

- ◆ 「困ったときの連絡先カード」を高齢者・見守り人・町会長・民生委員に配布した。(困ったときに電話ができるようにカードには見守り人、町会長、民生委員等の電話番号を記載している)

## 令和3年度(2021)

- ▶ 令和3年9月 見守り活動を周知するためのポスターを高砂地区に掲示。申込用紙を各町会と総合相談センター高砂に配布。
  - ◆ コロナ禍の中でも見守り活動はあまり影響を受けず継続していた。

## 令和4年度(2022)

- ▶ 令和4年11月 見守り活動する際に着用する缶バッジを作成

- ◆ ボランティア保険への対応もあり缶バッジを見守りをする方に配布した。



## ▶ 令和4年12月 高齢者の見守りに関するアンケートを実施

- ◆ 見守りをしている方を対象に、活動交流会を開催したかったが、コロナ禍のためアンケートを実施した。
- ◆ 見守り人の交流会への参加意向が約50%あった。

## 令和5年度(2023)

- ◆ 令和4年5月 新型コロナが「5類」に引き下げられた。

## ▶ 令和5年9月

- ◆ 民生委員がすべての見守り高齢者の状況確認を行った。

## ▶ 令和5年10月 見守り人交流会を初開催

- ◆ 参加者61人
- ◆ 高砂地区をどのようにして暮らしやすい町にしていくか、和やかかつ真剣な交流会となった。軽食も用意された。(4ページ参照)

## ▶ 令和6年3月 高砂共笑会だより創刊号を発行

- 見守り高齢者数 219人
- 見守り担当者 73人 (令和6年2月末現在)





## 見守り人交流会を開催しました

令和5年10月27日（金）に、高砂共笑会が行っている見守り活動にご協力いただいている方々にお集まりいただきました。（会場：高砂地区センター ホール）

高砂共笑会の見守り活動が始まってから、初めての交流会でした。

高砂地区の各町会の方々51人、高砂共笑会のメンバー10人の合計61人が集まりました

橋本副委員長が開会を宣言したあと、石戸委員長のあいさつがあり、月村副委員長による高砂共笑会のこれまでの経過などのお話がありました。

グループワークでは、日々の見守り活動を通して感じていることや、成果として実感していること、そして今後の課題についてとても具体的に話し合いをされていたのが印象的でした。そして、みなさまそれぞれの想いを感じられる時間でした。

また、高砂共笑会は、地域の強みを見つけられる活動をしているのだと感じました。課題を見つけ、地域の強みを活かして誰にでも心地よい安心できる町にすることが大切だと思います。

葛飾区社会福祉協議会が推進する小地域福祉活動が、高砂地区で実を結び地域に根付いていることに感銘を受けました。高砂共笑会の活動を多くの方に知っていただきたいなと思いました。（事務局 S）



石戸委員長のあいさつ



司会の戸張委員と会場のみなさん



マスクを外して熱弁をふるう石戸委員長

### 見守りのこと・高砂共笑会の願い

高齢者の皆さんは「困ったときの連絡先カード」をお持ちです。体調がわるいときなどに電話で様子を知らせることができるのは日常の安心になります。皆様のことは近隣の見守りの方が気にかけてくださっています。

高砂地区にお住まいの世代をこえたすべての人々が、共に笑顔で暮らせる仕組みをみんなで作っていきましょう。

### 民生委員の力を借りて

昨年9月に民生委員の方々に高齢者の皆様の安否確認をお願いしました。「困ったときの連絡先カード」に民生委員の連絡先もありますので安心です。

### 高齢者総合相談センター高砂と共に

高齢者総合相談センター高砂に見守りの申込書があります。お尋ねください。

葛飾区高砂 3-27-12 ☎03-5889-8600